平成25年12月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年４月30日

上場会社名　　日本和装ホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　2499　　ＵＲＬ　http://www.wasou.com/profile/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）吉田重久
問合せ先責任者　（役職名）常務取締役管理本部長　　（氏名）菅野泰弘　　ＴＥＬ　03-3216-0070
四半期報告書提出予定日　　平成25年５月14日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年12月期第１四半期の連結業績（平成25年１月１日～平成25年３月31日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第１四半期	997	△7.6	△503	－	△515	－	△324	－
24年12月期第１四半期	1,079	△20.8	△527	－	△547	－	△330	－

（注）包括利益　25年12月期第１四半期　△327百万円（－%）　24年12月期第１四半期　△331百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第１四半期	△3,609.98	－
24年12月期第１四半期	△3,674.90	－

（注）平成24年12月期第1四半期及び平成25年12月期第1四半期の営業利益、経常利益及び四半期純利益がいずれも損失であったため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。また、平成24年12月期第1四半期及び平成25年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり純損失であるため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第１四半期	5,272	2,325	44.0	25,791.98
24年12月期	5,442	2,651	48.7	29,425.34

（参考）自己資本　25年12月期第１四半期　2,321百万円　24年12月期　2,648百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	－	500.00	－	0.00	500.00
25年12月期	－				
25年12月期（予想）		－	－	－	－

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

（注）当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

３．平成25年12月期の連結業績予想（平成25年１月１日～平成25年12月31日）

（%表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	9.7	340	－	300	－	155	－	1,721.84

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

（注）当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。また、平成25年12月期の営業利益、経常利益及び当期純利益の対前期増減率については、平成24年12月期の営業利益、経常利益及び当期純利益がいずれも損失であったため記載しておりません。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無
②　①以外の会計方針の変更　：　無
③　会計上の見積りの変更　：　無
④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期１Ｑ	90,020株	24年12月期	90,020株
②　期末自己株式数	25年12月期１Ｑ	－株	24年12月期	－株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期１Ｑ	90,020株	24年12月期１Ｑ	90,020株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．四半期連結財務諸表 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 4
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 4
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 5
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 6
（４）セグメント情報等 …… 6
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 6
３．補足情報 …… 6

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの第１四半期における売上高は、前秋期「無料きもの着付教室」終盤の販売機会によるものが中心であるため、当第１四半期については、平成24年秋期の受講者数の減少が影響し、売上高は997百万円（前年同四半期比7.6％減）となりました。

利益面では、販売費及び一般管理費の抜本的な見直しを図り、春期の広告宣伝費を前年同四半期よりも早期に147百万円負担したものの、コンサルティング料等の支払手数料や地代家賃、その他諸経費が総じて減少したことから、営業損失は503百万円（前年同四半期は営業損失527百万円）となりました。

営業外損益では、運転資金の借入金利息を７百万円計上したこと等により、経常損失は515百万円（前年同四半期は経常損失547百万円）となりました。

法人税等は、法人税、住民税及び事業税を計上するとともに、四半期欠損金にともなう法人税等調整額を計上した結果、マイナス190百万円（前年同四半期はマイナス216百万円）を計上いたしました。

これらの結果、四半期純損失は324百万円（前年同四半期は四半期純損失330百万円）となりました。

当社グループは、早期の業績回復を目指した諸施策を実施しております。当第１四半期における販売費及び一般管理費の減少は、その諸施策が功を奏してきているものと考えます。

また、当第１四半期は、平成25年春期「無料きもの着付教室」の受講者募集時期にあたります。前事業年度に続き「顧客参加型企業」の方針に基づいて、当社グループの顧客1,000名が出演する広告宣伝活動を展開、さらに、教室のカリキュラムを一新して募集した結果、前年春期を約1,000名上回る新規受講者を獲得しました。この受講者を対象に４月から６月に開催する販売機会での売上高は順調に推移するものと見込んでおり、あわせて、この受講者募集に係る広告宣伝費は当第1四半期において早期に負担したことから、第２四半期以降の負担は少ないと見込んでおります。

一方、全国17万人超の会員に対しては、これまで休眠状態にあった約10万人の会員に対しても積極的にアプローチを開始し、会員向けイベントや新企画教室への参加を促しています。同時に、インターネット上にて会員を中心としたプロモーション企画を連動させており、例えば、当第1四半期に実施した「超・CM総選挙」の企画では、２ヵ月間で116万票のインターネット投票を集めるなど、プロモーション企画を重ねるほどに会員それぞれを介してのコミュニケーションが広がっています。

なお、当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントのため、セグメント情報に関連付けた記載を省略しております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期末における総資産は、前年度末と比較して169百万円減少して5,272百万円となりました。

流動資産は、割賦売掛金654百万円、その他流動資産89百万円の増加がありましたが、現金及び預金が564百万円、営業未収入金が339百万円減少したこと等により総額では157百万円減少し、4,024百万円となりました。

有形・無形固定資産及び投資その他の資産には、特記すべき変動はありません。

一方、流動負債につきましては、短期借入金が85百万円、営業預り金が90百万円増加したこと等に伴い、161百万円増加し、2,462百万円となました。

固定負債は、償還により社債が50百万円減少したことや、長期借入金が49百万円増加したこと等により、484百万円となりました。

純資産につきましては、当第１四半期に計上した四半期純損失324百万円により、前年度末と比較して326百万円減少し、2,325百万円となりました。なお、自己資本比率は前年度末と比較して4.7ポイント低下し44.0％となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年２月14日に公表いたしました連結業績予想からの修正は行っておりません。

２．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,396,073	831,096
営業未収入金	508,615	168,922
割賦売掛金	1,632,204	2,286,456
たな卸資産	115,369	118,651
その他	565,761	655,178
貸倒引当金	△36,515	△35,844
流動資産合計	4,181,508	4,024,461
固定資産		
有形固定資産	651,278	650,408
無形固定資産	29,791	28,191
投資その他の資産	579,427	569,568
固定資産合計	1,260,497	1,248,168
資産合計	5,442,006	5,272,630
負債の部		
流動負債		
営業未払金	28,972	25,328
短期借入金	1,556,332	1,641,532
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払法人税等	－	4,452
前受金	287,317	310,860
営業預り金	11,894	102,418
その他	316,982	277,969
流動負債合計	2,301,498	2,462,561
固定負債		
社債	350,000	300,000
長期借入金	119,212	168,992
その他	19,654	15,928
固定負債合計	488,866	484,920
負債合計	2,790,365	2,947,482
純資産の部		
株主資本		
資本金	459,634	459,634
資本剰余金	336,409	336,409
利益剰余金	1,857,478	1,532,507
株主資本合計	2,653,521	2,328,551
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,652	△6,757
その他の包括利益累計額合計	△4,652	△6,757
新株予約権	2,771	3,353
純資産合計	2,651,640	2,325,147
負債純資産合計	5,442,006	5,272,630

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年３月31日）
売上高	1,079,423	997,911
売上原価	257,893	188,043
売上総利益	821,530	809,867
販売費及び一般管理費	1,349,379	1,313,433
営業損失（△）	△527,849	△503,565
営業外収益		
受取利息	325	343
その他	864	1,900
営業外収益合計	1,189	2,244
営業外費用		
支払利息	7,630	7,463
支払手数料	1,302	6,728
社債発行費	10,039	－
その他	1,956	－
営業外費用合計	20,929	14,192
経常損失（△）	△547,589	△515,513
税金等調整前四半期純損失（△）	△547,589	△515,513
法人税、住民税及び事業税	11,715	2,231
法人税等調整額	△228,489	△192,774
法人税等合計	△216,774	△190,542
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△330,814	△324,970
四半期純損失（△）	△330,814	△324,970

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△330,814	△324,970
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△807	△2,104
その他の包括利益合計	△807	△2,104
四半期包括利益	△331,622	△327,075
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△331,622	△327,075

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

３．補足情報

季節的変動について

当社グループの主な収益源は、「無料きもの着付教室」の受講者及び修了生を対象とした販売機会において、各契約企業が商品を販売することに対しての仲介手数料です。

「無料きもの着付教室」は年２回（春期・秋期）開講しており、春期は第１四半期中に受講者を募集して開講し、受講中となる第２四半期を中心に販売機会を開催して終結します。同じく秋期では、第３四半期中に受講者を募集・開講し、第４四半期を中心に販売機会を開催して終結します。そのため、広告宣伝費を主とする受講者募集に係る経費が第１四半期及び第３四半期に集中して発生し、販売機会による仲介手数料の計上が第２四半期と第４四半期に集中します。

その他、教室の修了生である会員を対象とした販売機会を不定期に開催しておりますが、「無料きもの着付教室」に係る経費及び売上高の計上時期の偏重が大きいことから、各四半期業績に季節的変動があります。